

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	鶴ヶ峰もえぎ (単位1 : もえぎ)		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 20日		～ 2024年 10月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2024年 9月 20日		～ 2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全利用者から支援に満足いただいている	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管を中心に、児童、保護者へ定期的に面談をおこない、ニーズを適切に捉えることを意識している ・子ども会議を実施し、子どもから意見を抽出している 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの気持ちに寄り添い、理解し、特性に応じた専門性のある支援を、今後も提供していく
2	のびのびと過ごせる園庭、施設内の清潔の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検を定期的におこない、園庭のブランコや滑り台、砂場、夏場のプールなど、安心して使用していただけるよう配慮している ・清掃マニュアルに則って毎日清掃をおこない、クリンリネスの維持ができています ・季節感を感じられる装飾や掲示物なども準備し、お子さん一人ひとりの興味関心が伸びるきっかけ作りをしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検は継続・維持する ・不足している箇所、整備を要する箇所等、さらに改善を図っていく。放置しない。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童とかかわる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童と関わりと持とうとする積極性 ・職員の経験が浅く、提案力・企画力が弱い ・児童間トラブルの懸念 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回の地域イベントの経験を積み重ねていながら、地域の児童と関わるにはどんな内容が良いのか？考え、回数を重ねる毎により多くの児童に足を運んでもらえるよう企画していきたい ・イベントの実施に向けては安全性に配慮していく ・発信の方法はHPやSNSなども運用を進めていく
2	室内環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンフロアであるため、音等の刺激を遮る難しさがある ・パーティションを使用しても倒してしまう ・カーテンを取り付けてもレールが壊れてしまう ・活動に使用しない備品が置いてある ・児童が机に飛び乗ることがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な物（活動に使用しない備品など）は別室に移動させる等し、より広くスペースが取れるようにする ・カムダウンスペースや集団活動のスペースが必要に応じて使用できるよう、机や棚などの配置も検討を重ねていく
3			